

遊佐町町民ワークショップ報告書

目次

1. 町民ワークショップについて	1
1-1 背景	1
1-2 目的	1
1-3 概要	1
1-4 参加者名簿.....	2
2. 第1回町民ワークショップについて	3
2-1 実施方法	3
2-2 スケジュールとテーマ.....	4
2-3 ワーク1 次世代に残したい「遊佐」	4
1) 概要	4
2) ワークの結果.....	5
2-4 ワーク2 次世代に残したい「遊佐」のイメージを具体化しよう.....	11
1) 概要	11
2) ワークの結果.....	11
3. 第2回町民ワークショップについて	17
3-1 実施方法	17
3-2 スケジュールとテーマ.....	18
3-1 ワーク1 私が思う「遊佐の目に見える良さ」	19
1) 概要	19
3-2 ワーク2 「遊佐はやたら〇〇が多い！」	19
1) 概要	19
2) ワークの結果.....	20
4. 参加者アンケート	28
5. 会場の様子	32

1. 町民ワークショップについて

1-1 背景

遊佐町では令和 7 年度にまちづくりの最上位計画である「遊佐町総合発展計画（第 9 次振興計画）」の策定を予定しています。総合発展計画の策定の段階で、町民に参画していただくため、下記によりワークショップを開催しました。

1-2 目的

来年度の総合発展計画（第 9 次振興計画）の策定にあたり、遊佐町の目指す将来像について幅広い年代の町民の声を聴き、多角的な視点から「10 年後の遊佐町のビジョン」を決定し、行政と町民協働による計画策定を目指すことを目的としています。

1-3 概要

当日の開催概要は下表のとおりです。

項目	概要	
開催日	令和 7 年 2 月 2 日（日）	令和 7 年 2 月 22 日（土）
開催時間	9：30～12：00	13：30～16：00
開催場所	稲川まちづくりセンター	
開催形式	ワークショップ形式 ※参加者が主体となってテーマに沿って意見を出し合い、知識や考えを共有しながら作業を行うことで、多様な意見の創出が期待される形式	
ファシリテーター	とちぎ市民協働研究会代表理事・社会教育士 廣瀬 隆人先生	
対象者	(1)既にある町内会議体からの推薦者：15 名～20 名 (2)遊佐町にゆかりがある若者世代：5 名程度 (3)役場職員：6 名 (4)議会議員：2 名程度 (5)公募町民：5 名程度	
参加者数	29 人	31 人
内容	第 1 ラウンドテーマ 次世代に残したい「遊佐」（見えるモノ-見えないモノ） 第 2 ラウンドテーマ 次世代に残したい「遊佐」のイメージの具体化(見えるモノ-見えないモノ)	第 1 ラウンドテーマ 遊佐町の良い場所の紹介（遊佐の見える良さ） 第 2 ラウンドテーマ 遊佐はやたら〇〇が多い！（遊佐の见えない良さ）

1-4 参加者名簿

NO	所属または推薦元団体	氏 名
1	遊佐町総務課	畠中 英里
2	遊佐町産業課	金内 一馬
3	遊佐町地域生活課	土門 未聖
4	遊佐町健康福祉課	阿曾 豪
5	遊佐町町民課	阿部 花苗
6	遊佐町教育課	池田 小珠
7	遊佐町議会	渋谷 敏
8	遊佐町議会	伊原 ひとみ
9	地域おこし協力隊	渡辺 真央
10	地域おこし協力隊	白井 駿平
11	遊佐町少年議会	岡部 里々歌
12	遊佐町少年議会	萩原 瑞穂
13	在町大学生	安藤 希祥
14	在町大学生	佐藤 圭
15	蕨岡まちづくり協会	金野 勇武
16	遊佐地域づくり協議会	高橋 弘希
17	稲川まちづくり協会	菅原 愛
18	西遊佐地区まちづくりの会	土門 希紀
19	高瀬まちづくりの会	常田 俊哉
20	吹浦地区まちづくり協議会	池田 祥大
21	認定こども園保護者会代表	池田 美香
22	遊佐小学校 PTA 協議会	松本 猛
23	遊佐中学校 PTA 協議会	栄田 香
24	遊佐町社会福祉協議会	阿部 達也
25	遊佐町厚生会	齋藤 眞
26	遊佐町商工会	阿部 勝志
27	遊佐町商工会青年部	今野 利哉
28	遊佐町農業委員会	前川 一城
29	遊佐町芸術文化協会	本間 美智
30	遊佐町消防団	鈴木 聖春
31	NPO 法人遊佐鳥海観光協会	服部 正規
32	遊佐町環境審議会	高橋 正樹
33	公募委員	川俣 輝美
34	遊佐町少年議会	松本 杏彩（代理出席）

2. 第1回町民ワークショップについて

2-1 実施方法

第1回町民ワークショップでは、5人ごとのグループに分かれたワークショップ形式で開催しました。

① 5人程度のグループに分かれる ・幅広い年齢層の方が参加しました。 ・複数の年代が年齢関係なく、ランダムに班を構成しました。 ・5人程度のグループを合計6班に分けました。	
② テーマに沿って意見を出し合う ・模造紙の上に付箋を用意し、それに各自テーマに沿った内容を記載していただきました。	
③ お互いに書いた意見を確認しながら、整理を行う ・話し合いでは、年代関係なく話し合いを行い活発な交流を行いました。 ・整理を行った内容は整理し、わかりやくまとめました。	
④ グループごとに全体発表を行う ・グループ内で話し合いを行いまとめた内容を付箋に記載して、先生の進行のもと、他のグループに共有を行いました。 ・全体とアイデアを共有することで、他のグループの話し合いで出された多様な意見を知ることができます。	

2-2 スケジュールとテーマ

時間	項目	内容
9:15	受付	参加者受付、席の案内など
9:30	開会	開会の挨拶
9:32	目的・総合計画について	ワークショップの目的や総合発展計画について説明
9:40	遊佐町の現況のインプット	人口ビジョンや町民アンケート結果を元に、現在の遊佐町の状況などについて説明（人口等の状況についてクイズ方式にするなど、遊佐町の理解を深める）
9:50	ワークショップについて	・ワークショップの進め方やグラドルールについて説明 ・アイスブレイク
10:10	第1ラウンドテーマ： 次世代に残したい「遊佐」 （見えるモノ-見えないモノ）	自分の意見を書き出す グループでの話し合い 意見の分類
11:00	第2ラウンドテーマ： 次世代に残したい「遊佐」の イメージを具体化しよう （見えるモノ-見えないモノ）	グループでの話し合い
11:53	参加者感想	各班1人～2人程度感想を述べてもらう
12:00	閉会	閉会の挨拶、参加者への謝辞、次回日程について

2-3 ワーク1 次世代に残したい「遊佐」

1) 概要

グループに分かれ、各自が思う遊佐町の魅力を青とオレンジの付箋に書きました。青の付箋には「目に見えるモノ」、オレンジの付箋には「目に見えないモノ」を記載し、班の中で共有後グループ分けを行いました。

2) ワークの結果

各班の付箋に書かれた意見の一部を抽出し、班ごとに付箋の色ごとに下記にまとめました。

< 1 班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
おいしい食べ物 ・なんでも美味しい ・季節、行事毎の料理	活気とにぎわい ・やろうと思えば何かやれそう！と思わせてくれる余っている土地
清らかな水 ・牛渡川にのぼる鮭 ・美味しくきれいな水	伝統文化 ・方言や伝統料理、伝統文化 ・各地区のまちづくり協議会
田園風景 ・邪魔することのないのどかな田園風景 ・稲穂をソワソワと風に揺られる夏	のどか ・お店が混まないから楽々入店。ストレス少ない
遊佐のシンボル鳥海山 ・鳥海山山頂から見る日本海 ・水田から見る鳥海山	人とのつながり ・誰がどこの人か分かる安心感 ・人と人との繋がり、近所つきあい
海 ・海は遊佐の宝物、海水浴できる浜を子ども達に残したい	



< 2班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
景色 ・ 庄内平野の田んぼ風景 ・ 見る場所で変わる鳥海山の風景 ・ 丸池様などの水資源	学生 ・ 少年議会 ・ 地域みらい留学制度 ・ 高校生が町を楽しそうに歩いている景色
文化・イベント ・ 伝統芸能（比山、上寺まつり、お頭、神楽など） ・ カニ汁、芋煮、郷土食、肉もち、もうそう汁、どんがら汁、ささまき ・ 産業まつり	地域のつながり ・ 助け合いの気持ち ・ 情報網、住民とのコミュニケーション ・ まちセンとそれにぎわい ・ 町を盛り上げるため頑張る住民
名所 ・ あぼん ・ ふらっと ・ 飲食店	心情 ・ 若者世代への期待 ・ これからの遊佐へのわくわく ・ 防風林を守りたいと思う気持ち ・ 心の余裕



< 3班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
自然 ・ 水田から見る鳥海山 ・ 鳥海山の四季の移り変わり ・ 白鳥が翔んでくる風景 ・ 海も山も川もある雄大な自然	空間・風土 ・ 空気や時間、のんびり感 ・ 人の温かさ、思いやり ・ 方言 ・ 遊佐の事が好き
湧き水 ・ いろいろな水関係 ・ 町外や県外からも汲みに来る湧き水	元気な住民・見守る支える体制 ・ 誰にでも話しかけるお年寄り ・ 小学生の登校時の見守りシステム ・ 高齢者同士が支え合うシステム
食文化 ・ お酒（YUZA ウイスキー、杉勇） ・ 郷土料理（遊佐ごっつお） ・ 米（はえぬき） ・ 季節の料理（岩ガキ、ハタハタの田楽）	集落・地区 ・ 町（部落）単位で物事を考えている ・ 6つの地域のそれぞれの良さ ・ 伝統芸能



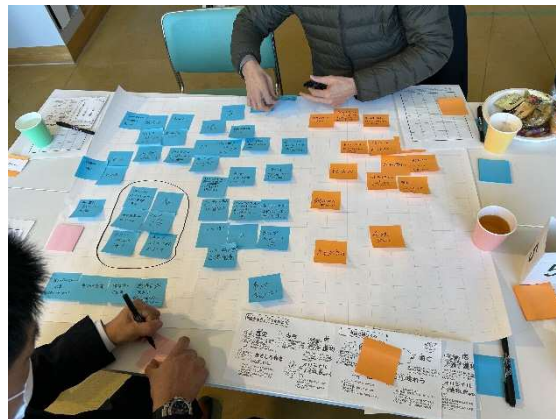
< 4班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
イベント ・西浜の町民花火大会 ・吹浦花笠舞や杉沢比山を代表とする各地区の伝統芸能 ・伝統行事 ・遊佐混声合唱団、ゆざ演劇研究会、地域に根差した芸能活動	人・人とのつながり ・知らないうちにつながる人間関係 ・町の空気感からの安心感、信頼感 ・外の人を受け入れるウェルカムな精神風土
自然 ・人々の営みを感じられる連続した田園風景 ・海水浴、サーフィン、釣り、カヌー遊びをもたらす、きれいな海 ・いたる場所にある湧き水 ・鮭の孵化事業ができる川	郷土愛 ・地元愛があふれる町民性 ・郷土愛（色々と批判しながらもなんだかんだ言って良くしたい願望） ・まちを良くしようとするクリエイティビティ
建物 ・町民体育館 ・まちづくりセンター ・酒蔵（杉勇、東北泉、ウイスキー蒸留所）	



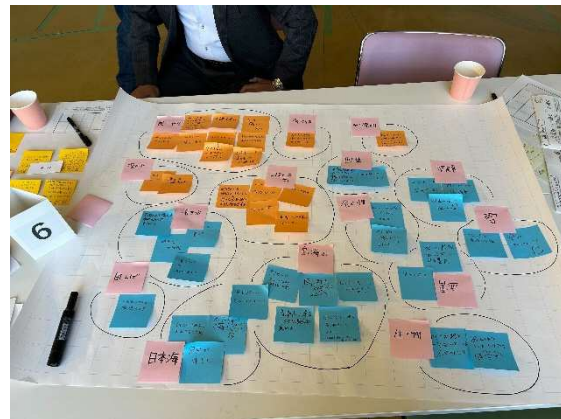
< 5班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
自然 ・ きれいな鳥海山 ・ 満天の星空をひとりじめできる空 ・ 桜の時期の中山河川公園 ・ 白鳥が飛来する月光川 ・ 夕日が見える壮大な海	人 ・ 遊佐の事がみんな好き ・ 外から来た人の歓迎 ・ 町民の人柄がいい
文化施設 ・ 各地区のまちづくりセンターや図書館 ・ 西山の防風林 ・ 吹浦祭の花笠舞、各地域の祭り ・ 温泉あぼん	地域 ・ 地域の人があたたかい ・ ご近所付き合い ・ 団結力
水田・米 ・ 水田から見る鳥海山 ・ 山と一緒に映える田園風景 ・ 生協に売っている「遊 YOU 米」	伝統文化 ・ 方言がいい ・ 伝統文化



< 6班 >

主な意見（目に見えるモノ）	主な意見（目に見えないモノ）
湧き水 ・ 鳥海山から流れる水がきれいで美味しい ・ 健全な水循環 ・ 湧き水が多く場所も量も多い	思いやり ・ 人情が厚い ・ 新しい人や物に対してそこまで抵抗感がない、受け入れ易い感じがある ・ 新たな取り組みを歓迎する雰囲気
自然 ・ 鳥海山のきれいな形、安心感 ・ たわわに実る稲穂の風景 ・ 雄大な日本海に沈む夕日の景色 ・ 冬の星空寝っ転がって見る景色	コミュニティ ・ 町民の人をほとんど知っている ・ 人とのつながり ・ 再会した時のうれしさ ・ コミュニティの強さ
四季 ・ 雪がたくさん ・ 四季がはっきりしていて季節の魅力を感じられる	利便性 ・ 田舎ではあるが酒田と隣同士なので買い物は比較的行きやすい



2-4 ワーク2 次世代に残したい「遊佐」のイメージを具体化しよう

1) 概要

ワーク1で作成した付箋が想定より多かったため、付箋を参考にして「自然」と「目に見えないモノ」について、より具体的なイメージをディスカッションしながら記載しました。班分けは、1, 2, 4 班と 3, 5, 6 班に分かれ、1, 2, 4 班は「目に見えないモノ」を、3, 5, 6 班は「自然」について、具体的なワードを挙げながら、次世代に残したい「遊佐」の姿について、短い文章で纏める作業を行い、付箋に書きだし、班ごとに発表しました。

2) ワークの結果

「目に見えないモノ」グループ

<1 班>

人との繋がり
安心感世代をこえて

杉沢比山 400 年
やさら〇〇年、田楽〇〇年
これから何百年続けよう



<2 班>

知り合いに会える
エルパとあぽん西浜

わ～だしか、わがんね
このなまり
聞いてしゃべっと
ゆっくりするの～！

あちこちで突然始まる
シニアたちによる
元気な井戸端会議

中高生がワクワクできる！
拠点や居場所が
あふれる遊佐町

元気に育ったゆげで
伸び伸び育った
鮭と子どもたちが
大きくなって
帰ってこれる町



<4 班>

自転車で登下校するバス停から歩いて
いく部活道具を持った遊佐中生

雪にとざされ晴れの日も
少ない冬を経て訪れる
花たち、虫たち、山の木々
人の営みがいっせいに動き出す、春のよ
ろこびあのお祭り感

湧水に育まれた米、鮭、酒。
先人の知恵からつちかわれた恵みをみ
んなで呑み喰らう秋

皆で汗流し町一体でつくり上げる夏祭
り・花火大会 自然の畏敬の気持ちを受
け継ぎその舞にこめられた人々の情熱
を感じる伝統芸能。
それが一気に花ひらく夏



「自然」グループ

<3 班>

お酒のお供になるほど美味しいお米

米、作物の源となるろ過装置

町の水道水を全て湧水でまかなえる程
の量と良質な水

田植え直前に水を張った水田にうつる
逆さ鳥海と種まきじいさん



<5 班>

稲穂と鳥海山が映える晴天や夕暮れの
グラデーションになる空、夜になると満
天の星を独り占めできる空がある遊佐
町

その「人」がその“一瞬”でしか感じる
ことのできない思い景色・情景

「遊佐」がひとり1人の映えスポット



<6 班>

朝や昼は田んぼに鏡映し、夜は満天の星空が魅力的な鳥海山のそんなステキな景色、風景が子どもも大人もみんなの笑顔につながってゆく

鳥海山麓から見る日本海に沈む夕日の美しさと自然の大切さ遊佐町の財産

湧き水が川に流れ水がきれいなため、きれいな水にしか住めないイバラトミヨが街なかの川でも泳いでいる。バイカモも咲いている春は白い花がきれい。

人々の生活も生き物や植物の命も、土地の豊かさや景観も遊佐町のあらゆる営みを支える、きれいで豊富な水の循環

標高 200m 付近の中山間地から見えるキラキラ光る日本海と後ろを振り向くと空の半分以上を覆うほどの鳥海山

鳥海山から流れ出る湧き水で豊かになった田んぼで作られる美味しいお米や野菜



3. 第2回町民ワークショップについて

3-1 実施方法

第2回町民ワークショップは、5～6 人ごとのグループに分かれたワークショップ形式で開催しました。

① 5～6 人程のグループに分かれる ・幅広い年齢層の方が参加しました。 ・複数の年代が年齢関係なく、ランダムに班を構成しました。 ・5～6 人のグループを合計 6 班に分けました。 ・また、ワーク 2 では各班の若者を集めてわかもの班を作成しました。	
② テーマに沿って意見を出し合う ・ワーク 1 では付箋を使用せず、写真を見ながら意見を共有しました。 ・ワーク 2 では模造紙の上に付箋を用意し、それに各自テーマに沿った内容を記載していただきました。	
③ お互いに書いた意見を確認しながら、整理を行う ・グループ内での話し合いでは、年代関係なく話し合いを行い活発な交流を行いました。 ・話し合った内容は整理し、模造紙にわかりやくまとめました。	
④ グループごとに全体発表を行う ・グループ内で話し合いを行いまとめた内容を全体発表にて、他のグループに共有を行いました。 ・全体とアイデアを共有することで、他のグループの話し合いで出された多様な意見を知ることができます。	

3-2 スケジュールとテーマ

時間	項目	内容
13：15	受付	参加者受付、席の案内など
13：30	開会	開会の挨拶
13：32	第1ラウンドテーマ 遊佐町の良い場所の紹介（遊佐の見える良さ）	参加者のみなさんにご提供いただいた写真の共有 写真をもとに紹介、話し合い
14：30	第2ラウンドテーマ 遊佐はやたら〇〇が多い！ （遊佐の见えない良さ）	グループでの話し合い グループの意見の書き出し
15：15	発表	5分×7グループ
16：00	閉会	閉会の挨拶、参加者への謝辞

3-1 ワーク1 私が思う「遊佐の目に見える良さ」

1) 概要

前回のワークショップを踏まえて、ワークショップ参加者に遊佐の景色の写真を撮っていただき、事前に町にお送りいただいた。ワーク1ではその送っていただいた写真を撮影者の方にご紹介いただきました。



※右の写真は実際に左の写真で共有しているものです。

3-2 ワーク2 「遊佐はやたら〇〇が多い！」

1) 概要

第1回ワークショップと同様に5人程のグループに分かれ、ワーク1で出た「遊佐はやたら〇〇が多い！」という内容についてワークを行いました。「遊佐はやたら〇〇が多い！」を話し合いながら、遊佐はこういうまちだということを言葉にして遊佐の見えない良さについて確認しました。また、各班の一番若い方を選出し、次期総合計画・計画書のキャッチコピーを考えました。

2) ワークの結果

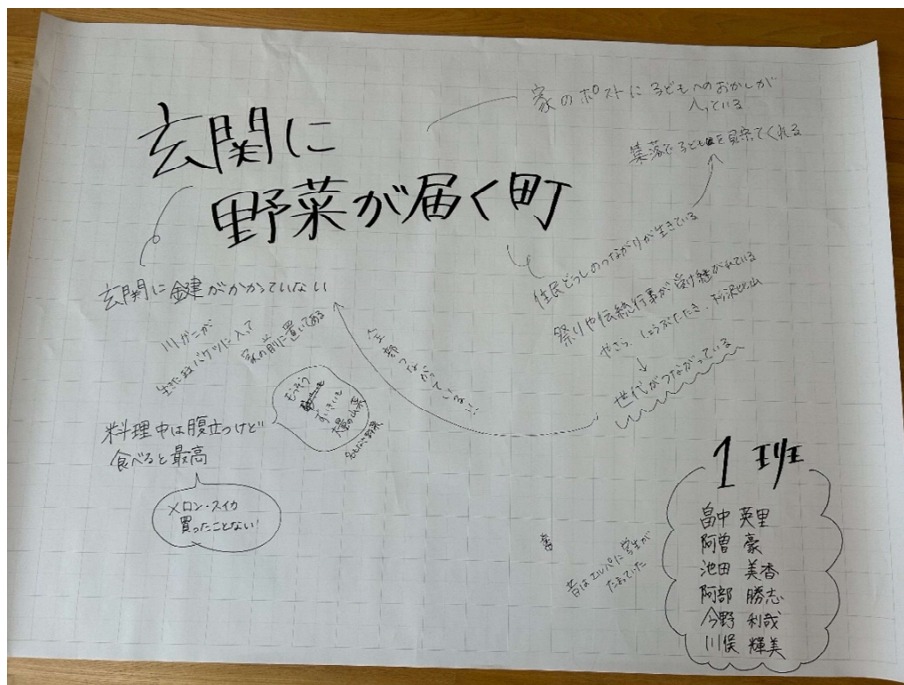
< 1 班 >

①玄関に野菜が届くまち

ご近所さんから、玄関に野菜が届いていたり、ポストにお菓子が入っていたりすることがある。子供たちを集落全体で見守ってくれている環境。

②祭りが多いまち

お雛様を川に流す祭りや、しょうぶたたきという祭り等、この地域じゃないと知らないお祭りがある。杉沢比山も 400 年も 500 年も続いている祭りがあるっていうのは、住民同士の繋がりがあり、世代が繋がっているように感じる。



< 2班 >

①集金が多いまち

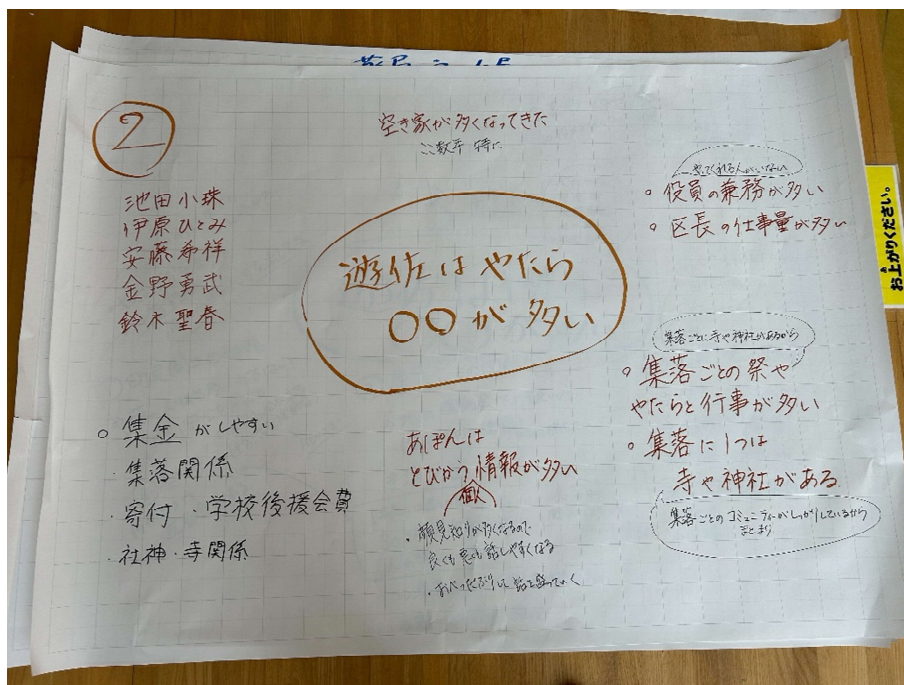
集落関係、お札のお金、各集落にある神社の維持費、学校、後援会費そういったものも色々支払っていると感じる。自分たちは当たり前のように支払っているものが実はそうではないことがわかりました。

②情報が多いまち

誰かの勤め先、あの奥さんどこから来たか、誰かが入院した、そういった情報がすごく多い。顔見知りが多くなり、話しやすくなる。

③忙しいまち

遊佐町全体の祭り、集落ごとの祭りや行事がすごく多い。役員の兼務が多く、区長の仕事量が多い。役員の兼務が多ければ、なかなか世代交代したいのになしてくれる、やってくれる人がいなく、どんどん積み重なっている。



< 3班 >

①町民同士の結婚が多いまち

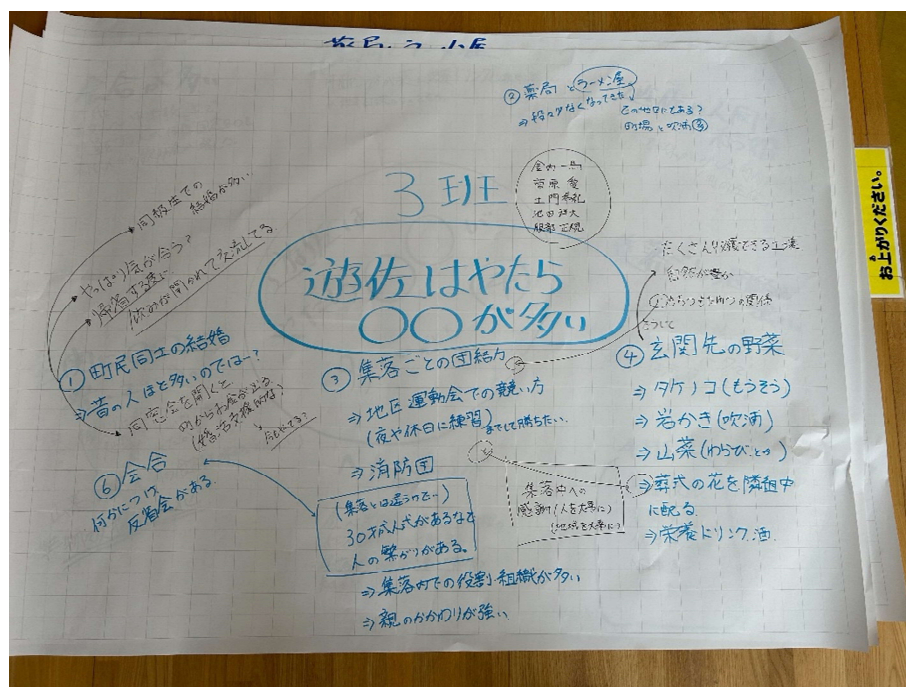
年上の方が同じ遊佐町で同級生同士の結婚が多い。帰省している友達が帰ってくると張り切って友達を呼んで人が集まり、そこで出会いがあることが多い。特に同級生同士の結婚が多い。今は分からないが遊佐町で同級会を開くと補助金が出るということがあった。

②繋がりが多いまち

集落の役割や組織が多い。部落同士でも色々な組合が多く、飲み会も多い。野菜やタケノコ、岩ガキ、山菜とか玄関先に置いてある。葬儀の際余った花を地区に配る遊佐の風習がある。遊佐は人と人の繋がり、持ちつ持たれつの関係。

③勝ち負けにこだわるまち

地区の勝ち負けにこだわっている。運動会に限らず、消防団とかでも違う地区で1位になることを常に目指しています。



< 4班 >

①会合が多いまち

会合が多く、幼稚園で役員をすると中学校まで役員を続けなければならない。結果的に同じ人が一緒になり、小さいことも飲んで話そうかとなりそこで決まることが多い。

②団結力が強いまち

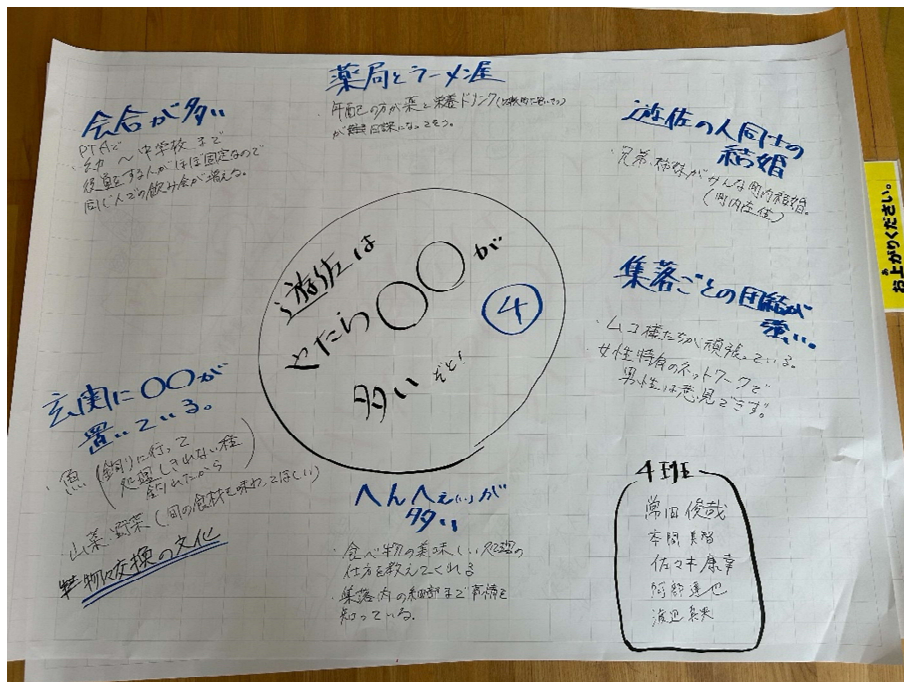
集落ごとの団結が強く、自分の集落に関しては婿が多い。集落ごとで集まると女性特有のネットワークが強すぎて男性意見が全く反映されないということもある。しかし、女性の方々の力は町には頼りだと思ふ。

③遊佐の人同士の結婚が多いまち

遊佐の人同士の結婚、兄弟、姉妹が町内結婚で町内在住の方がいる。遠くに住めばと思うが、近くに住んでいると安心感がある。

④薬局やラーメン屋が多いまち

年配の方が薬とか比較的安い栄養ドリンクを日課として摂取しているような気がする。



< 5班 >

①集会所の利用回数が多いまち

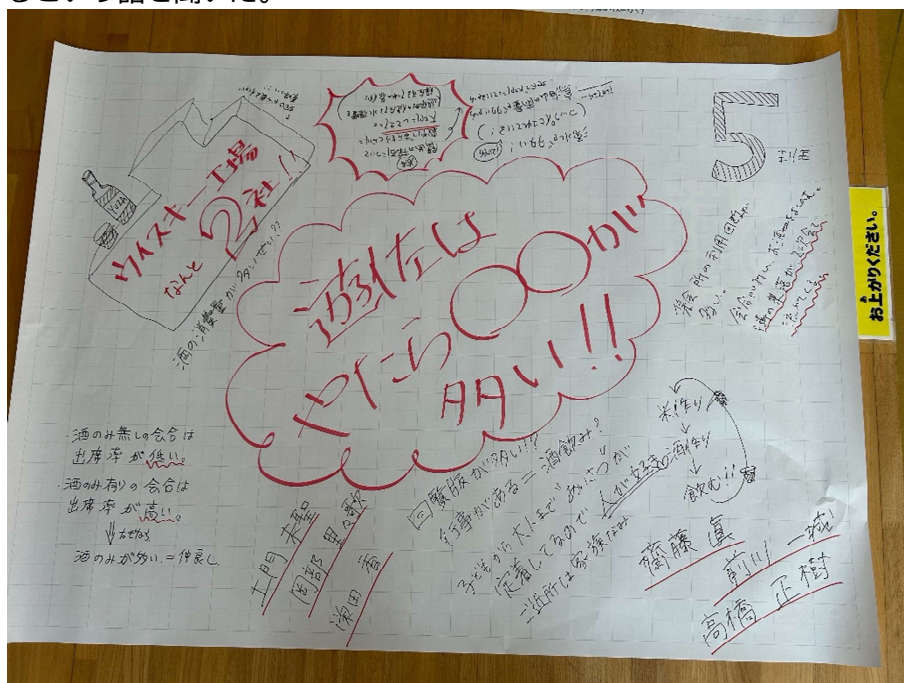
集会所の利用回数が多い。集落によっては水道検針に行く検針員さんがここは他よりも使っているねって話をする。会合後の飲み会は参加者も増え、飲み会があるとみんな仲良くなる。

②交流が多いまち

回覧板が多く、大人から子供まで挨拶も定着しており、みんな仲が良い。

③水が美味しいまち

鳥海山の雨量が多く、湧き水も多い。酒飲みの話になった時に蛇口から出てくる水が美味しい。その流れでウイスキー工場の話が出た。2社あるうちの片方は蛇口の水でウイスキーを作っているという話を聞いた。



①自治の考えが強い

②新しいことへの受け入れが多いまち

6

阿都花音
流々歌子
白井歌子
藤原瑞穂
高橋弦香

遊佐の存在
・ 案がある地以外の人にはありえない?
・ 同世代にも面白い
→ 通う子供は見えていない?
→ 若者×若者のイベント?

[遊佐はやたら ○○が多い]

- ・ 合会
- ・ 苗字(同じ)
- ・ 高齢者
- ・ 集落の看板
- ・ 湧水
- ・ 空を家

- ・ 町内放送(選挙、天候、火災)
- ・ 地域イベント
- ・ 風
- ・ 伝統行事
- ・ 新しい事へのチャレンジ
- ・ 自然エネルギー発電
- ・ 新しい人の受け入れ

民間の活動

- ・ 自治会の考えが根づいている
 - ① “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ② “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ③ “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
- ・ 高齢化が課題?
 - ① “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ② “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ③ “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
- ・ 新たな分野に目を向ける
 - ① “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ② “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか
 - ③ “誰”が“何”を“どこ”で“いつ”やるか

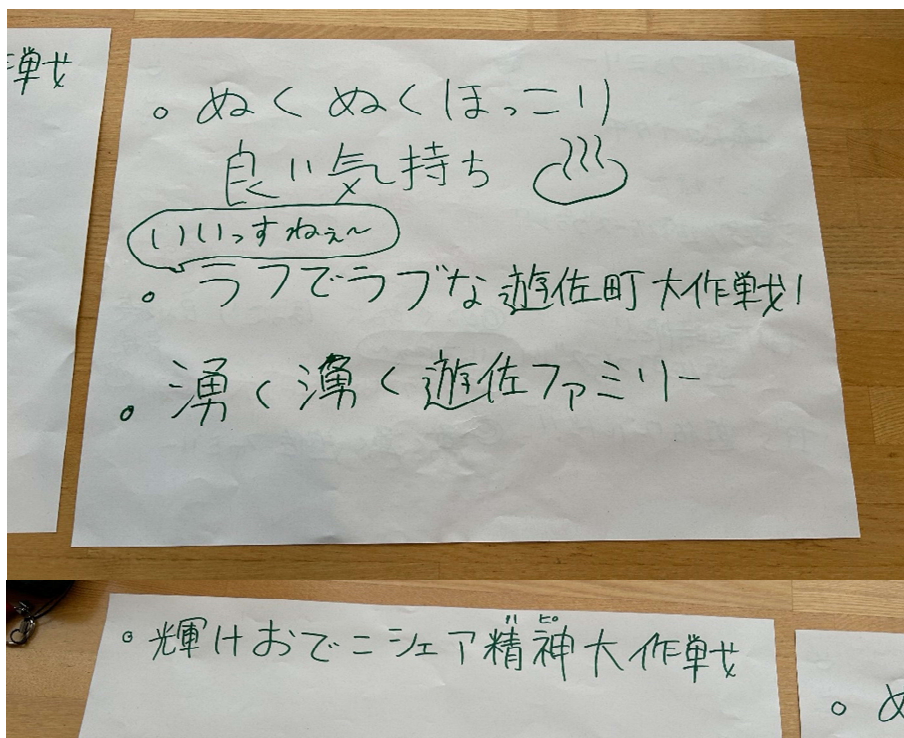


<わかもの班>

わかもの班では他の班から、その班の中でも最も年齢の低い方々に集まっていただき、次期総合計画・計画書のキャッチコピーを考えました。

班内でのイチオシは②「いいっすね～ ラフで ラブな 遊佐町大作戦」でした。

- ① めくめくほっこりいい気持ち ☺
- ② いいっすね～ ラフで ラブな 遊佐町大作戦
- ③ 湧く湧く遊佐ファミリー
- ④ 輝け おでこ シェアハピ大作戦



① めくめくほっこりいい気持ち

遊佐町の合言葉はハイセンスなものより、ちょいダサぐらいが親しみやすくてよい。遊佐の町外に住んでいる人に、遊佐町の温かさや優しさが伝わるという。

② いいっすね～ ラフで ラブな 遊佐町大作戦

遊佐町の飾らない風土、町民の気持ちの温もりや優しさを表現した。「ラフでラブ」が韻を踏み、覚えやすくて言いやすい。

計画・プラン等の名称でなく「大作戦」とすることで、自分たちが主体者となって一緒に取り組んでいく意気込みを表している。

③ 湧く湧く遊佐ファミリー

遊佐の名物である湧水の「湧く」と「ワクワクする」をかけた。「ワクワクすることがいっぱいある」町であるし、「ワクワクすることがいっぱいあるといいな」という期待をこめた。町にコミュニティがあり皆が仲良しなことを「遊佐ファミリー」の言葉で表した。

④ 輝け おでこ シェアハピ大作戦

複数の案を統合して作成した。遊佐町が山形県の中でおでこの場所に位置することから「おでこ」を用い遊佐町が輝いてほしいとの期待をこめた。「シェアハピ」は心を通じ合せ良いことを分かち合っていくこと、「大作戦」は②と同じく「皆で動いていこう」との意思を表している。



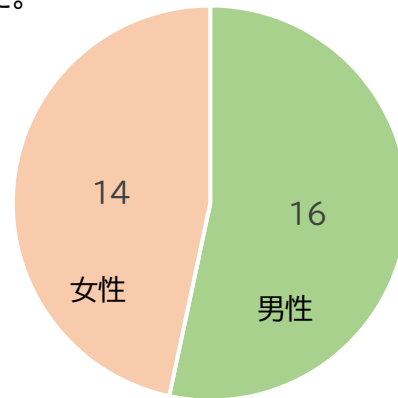
4. 参加者アンケート

参加者 30 名の方からアンケートに回答いただきました。

<問1 性別>

性別にかたよりなく、参加していただきました。

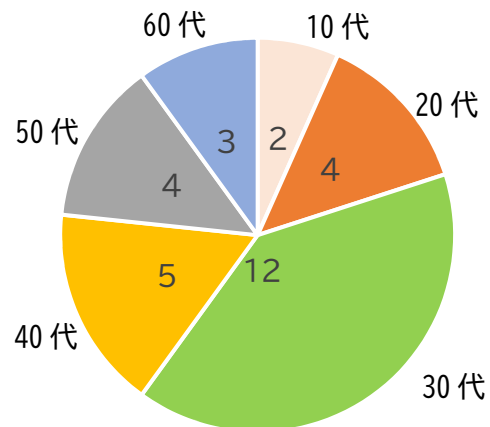
選択肢	回答数
男性	16
女性	14
合計	30



<問2 年代>

30 代の方の割合が比較的多いですが、10 代から 60 代まで、幅広い年代の方に参加していただきました。

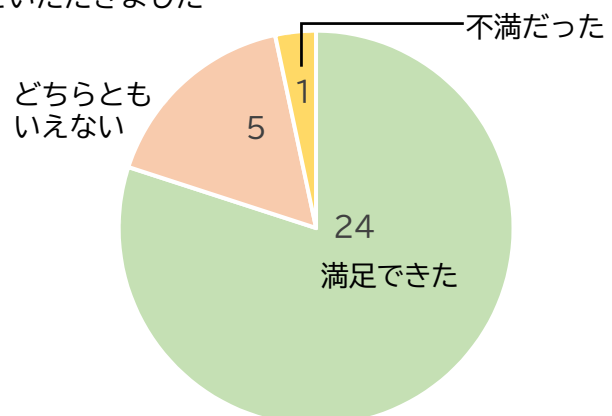
選択肢	回答数
10 代	2
20 代	4
30 代	12
40 代	5
50 代	4
60 代	3
合計	30



<問3 ワークショップは満足いただけましたか？>

参加者の 8 割から「満足した」と回答をいただきました

選択肢	回答数
満足できた	24
どちらともいえない	5
不満だった	1
合計	30



<問3 その理由を教えてください。>

色々な世代と交流できたことで、新たな発見や気づきがあったとの肯定的な意見が多くあった一方、ワークショップの内容やワークショップの意義について疑問の声も挙がりました。

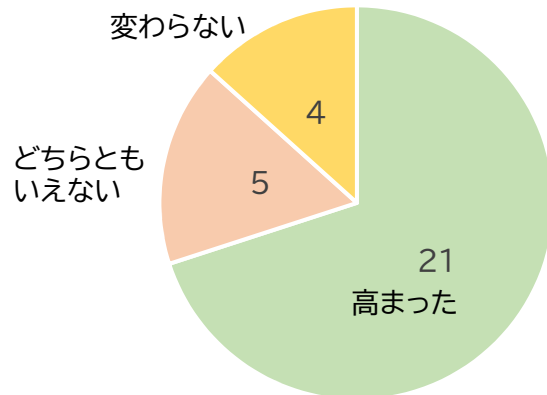
自由記述一覧

「満足できた」理由について
<講師について>
先生の話がとても面白かった
講師の先生のプラスの方向での発想をすることが大変勉強になり楽しかった
<発見、気づきについて>
新しい遊佐を知ることができた
他人の目から見た景色が見れた
色々な年代の方と同じ班になり、発見や気づきがあった。
自分にない視点の意見を知ることができた
自分では気づけない視点からの意見が沢山聞けた
別の角度からの視点に気づくことがあり有意義な時間だった
同じモノでも受けとり方が違い、感心することが多かった
自分の知らない遊佐町を知れた
当たり前にあるもの、環境に気づき、「何もない・人が少なくなる」のコンプレックスが、遊佐の魅力・強みに変わった
<様々な年代との交流について>
若い人や他地区の話が多く聞けた
遊佐町に住む色々な方と話すきっかけになった
年代の異なる人たちと話すことがあまりないので、良い機会になった
様々な年代、立場の町民とまちづくりに関する意見を話せて楽しかった
町民の方々のたくさんの意見が聞けて、共感する部分や発見することがあったから
参加した人が社会的で楽しく充実した話し合いができた
「どちらともいえない」「不満だった」理由について
遊佐をよくする内容を考えると思ったから
少し難しかった
このワークショップの先のまちづくり計画の発展が見えない感覚が拭えなかった
ワークショップの中からどういう計画になるのかイメージできなかった

<問4 まちづくりに対する関心は高まりましたか？>

参加者の7割から「高まった」と回答をいただきました

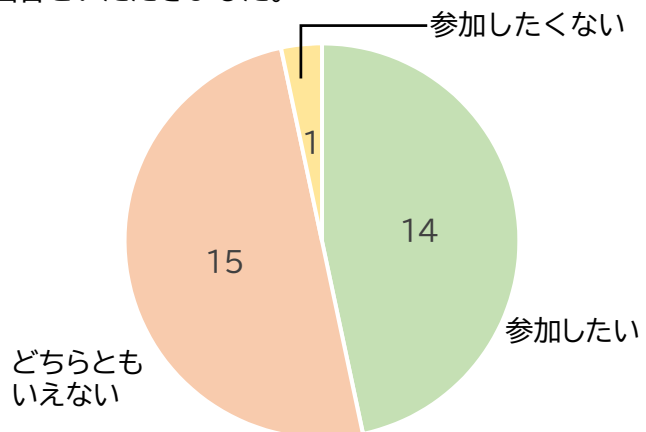
選択肢	回答数
高まった	21
どちらともいえない	5
変わらない	4
合計	30



<問5 今回のワークショップのような町民参画の機会があったらまた参加したいと思いますか？>

参加者の半数から「参加したい」と回答をいただきました。

選択肢	回答数
参加したい	14
どちらともいえない	15
参加したくない	1
合計	30



<問6 ワークショップの中で気づいたことや感じたことがあればお聞かせください>

ワークショップそのものや、ワークショップを通じた会話・交流・意見交換に対して肯定的な意見を多くいただきました。また新たな気づきや再発見を得た方も多くいらっしゃいました。一方、今後同様のワークショップを今後開催する場合は、適切な開催時期を選ぶなど、今後に向けて改善の余地があると感じました。

自由記述一覧

新しい町の発見ができ、有意義なワークショップだった
今回のような形式のワークショップを開催し、住民が参加することは町民のまちづくりへの意識を高め、有意義だと思った
ワークショップを行うことで、アンケートでは得られない町民の本音を見ることができた

今後のまちづくりにはこのようなワークショップの意見が必要と感じた
町の良いところを再認識する良い機会だった
普段関わらない町民と話す機会は貴重だった
いつも会議形式で重い雰囲気だが、楽な気分で他の方々と絡めたのが良かった
普段意識していないことにも気づくことができた
自分より若い人の意見を聞いたり話したりする機会が少ないので良かった
遊佐町の良さについて再確認したのと、自分の知らない魅力がまだまだ詰まっていると知れた
改めて町の良さに気がつくことがあった
違う環境の方との触れ合いがあるのが良かった
様々な年代の人が集まることで、色々な意見が出て気づくこともあれば自分の意見と重なることもあって楽しかった
選ばれた人ばかりなのか、遊佐の良いところや将来についてしっかり考えている人が多くて驚いた
やはり遊佐は鳥海山が基本になっていると思った
人と人との結びつきがすばらしい
どんな形でもコミュニケーションは大切だと改めて思った
まちづくりがどう進んでいくのかということに関心が出た
町の発展に役立てて欲しい
到達地点を知りたかった
内容は良かったが会場が寒かった
寒かったので時期を変えてほしい
終わった後に振り換えられるよう模造紙の共有があるとよい
遊佐に元からいた方は意見を出すのが難しそうだった

5. 会場の様子

<第1回町民ワークショップ>



<第2回町民ワークショップ>

